

災害時の強い味方！ 暮らしを守る防災情報ネットワーク デジタル地域防災無線システム

田原市は、発生が予想される東海地震や東南海・南海地震に備え、「災害に強い安全なまちづくり」を目指し、さまざまな防災対策を進めています。今回整備した「デジタル地域防災無線システム」は、その中でも最も重要な事業の一つであり、災害時における情報収集や伝達を正確かつ迅速に行うためのもので、応急対策や防災体制の確立に欠かせない、市民の生命・財産を守るために必要なシステムです。災害時において、消防・警察など防災関係機関はもとより、市民館・避難所・学校・病院など生活関連機関と密接な連絡体制がとれるようネットワークで結ばれています。また、平常時にも行政通信システムとして活用することができます。すでに整備している市東側エリアに続き、今年度は市西側エリア（南部校区の一部、野田校区、赤羽根全域）を整備する予定です。

防災対策室 ☎ 23局3548

システムの特徴

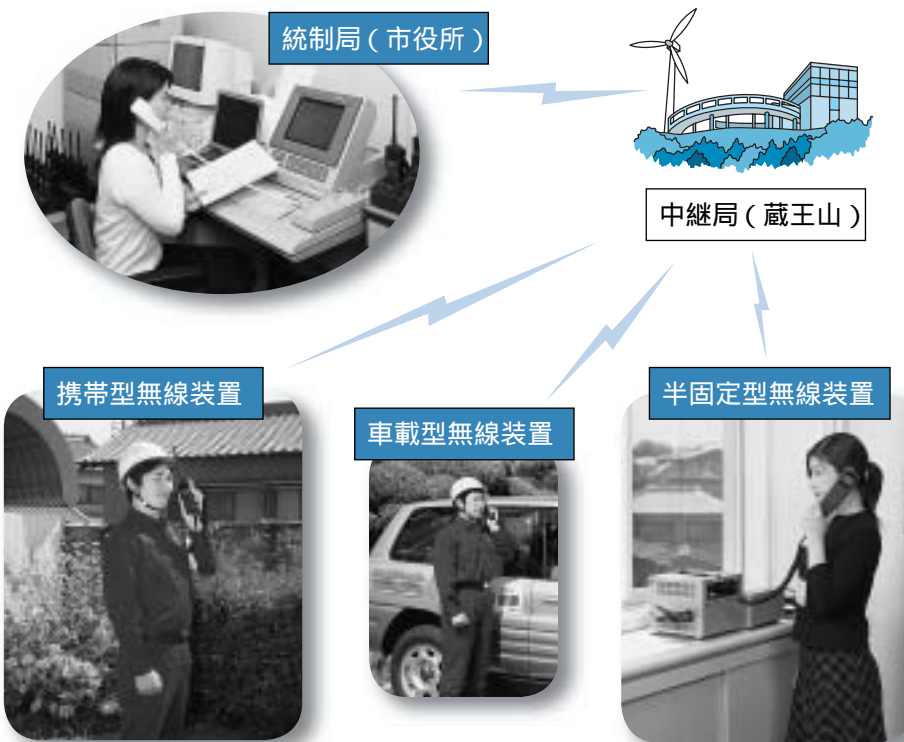
災害時に一般電話回線が混乱しても、市の災害対策本部や関係機関との間で通話が確保できます。

平常時でも関係機関の通信に利用できるため、電話料を節約できます。複信方式により電話感覚で通話ができます。

静止画の伝送なども可能で、災害現場の情報がリアルタイムに受信できます。

個別通信（1対1）のほか、グループ通信、一斉通報など、必要に応じた通信ができます。

イメージ図



1 デジタル地域防災無線システムを整備しました
2 図書館フェスティバル'04を開催しました
3 田原市ホームページを充実しました